



市議会議員
上田由美子
☎ 68-2106
Fax 68-2146



参議院議員
井上さとし



前衆院議員
藤野保史

5月臨時議会

小矢部市5月臨時議会が22日、23日に開かれ、物価高騰対策として補正予算(案)が審議され、14事業の実施が決まりました。財源は、国の地方創生臨時交付金です。

高物価対策などに1億6千万円

実現したものです。

県も500円/10a

なお、農業者には県からも、化学肥料・燃料コスト低減に向けた取り組みを支援するため、10a当り500円の奨励金が交付されます。



学校給食費増額分助成

来年度以降も必要

小矢部市は、学校給食費を2023年4月から値上げしましたが、保護者の負担を軽減するため、その増額分を助成します(750万円)。しかし、この助成は2023年度のみであるため、来年度以降引き続き助成する仕組みを作る必要があります。

子育て・生活困窮者にも支援

小矢部市ではその他に、子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯や低所得の子育て世帯へ児童一人につき5万円)、生活困窮者等生活支援金(住民税非課税世帯に1世帯3万円)を支給します。

農業者に支援金決定

200円/10a

また、市内農業者に対し、農作物の作付面積(二毛作含む)10a当り200円の支援金を支給します(700万円)。

この2点は、5月8日に日本共産党小矢部市委員会が市長に申し入れた要望が

この2つの給付金について、2023年1月以降に収入が減少した家計急変世帯が含まれます。対象の方は申請が必要です。それぞれ子ども家庭課・社会福祉課にご相談ください。
プレミアム付き商品券発行事業補助金や介護保険事業所等への支援金を含め、約1億6千万円の補正予算額となっています。

「停留所を増やして」

4月から市営バスの乗合タクシー路線区間ではAIオンデマンド交通「チョイソコおやべ」の実証運行を始めました。

「チョイソコおやべ」を利用した75歳以上の市民から、「家まで来てもらえるので、通院などに便利でとても助かっている。往復400円(後期高齢者等の場合、一般の人は1乗車400円)で行けるのも良い。しかし行先は停留所に限られているので、小矢部郵便局にも停留所を作ってほしい」という声を聞きました。

矢部郵便局にも事業所停留所の要望調査をしている」と答えました。
市は行先となる停留所(金融機関や医院、店舗など)の設置について、5月中旬から6月まで要望調査をしています。利用者からも希望を出しましょう。事業所停留所は、23年10月1日(日)から利用が始まります。

なお、メルバス路線でも7月から休日(平日はメルバス定期便運行)、10月からは平日の日中時間帯もAIオンデマンド交通に移行(朝夕の時間帯はひきつづきメルバスを定期便として運行)します。

上田由美子市議は

市議会全員協議会(5月22日)で質問し、生活環境課長は「小

解説 オンデマンド交通とは

乗り合い型公共交通サービスの一形態で、乗降地点、経路、運行時刻などを利用者の要求にこたえるようにします。

政界川柳・狂歌

荒川翔平

後進国だけがしている世襲制
料亭で3万円の料理食う
庶民は昼にカップ麺だよ

東京都では2023年度から接種費の個人負担軽減のため、带状疱疹ワクチンの接種費を助成する区市町村への補助事業を実施しました。補助額は、生ワクチンの場合は5千円/回(1回のみ)、不活化ワクチンは1万円/回(2回まで)を上限です。任意予防接種における健康被害の救済措置についても紹介しています。

東京では 今年度から実施

県内では上市町が上限5千円1回のみで補助しています。富山県でもぜひ実施できるようにしましょう。

県に予算要望(その2)

带状疱疹ワクチン 接種に助成を

(共産党) 带状疱疹ワクチン接種費用に助成をすること。

(県) 带状疱疹ワクチンは、任意接種であり、個人の判断により個人の負担で受けていただくことになっている。国では、年代別に効果を調べ検討している。